株主のみなさまへ

第52期　事業報告書

2004.3.1～2005.2.28

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。平素のご支援、ご愛顧に対し、厚くお礼申し上げます。また、このたび新たに株主となられた皆様に対し心からお礼申し上げますとともに、今後とも末永くお付き合いいただきたく、よろしくお願い申し上げます。
それでは、52期の事業概況等につきましてご報告申し上げます。

全体の概要

当期におけるわが国経済は、米国や中国をはじめとした世界経済の回復を背景に、企業収益の改善が続き、景気は回復基調の兆しが見えてまいりました。
小売業界におきましても、雇用環境に改善が見え始めましたが、原油価格の高騰、度重なる自然災害、暖冬などの天候状況からも若干の影響が見られた結果となりました。
こうした環境下で、当社は収益の向上を図るため、経営の効率化や財務体質の強化を推し進めながら既存事業の見直しを行い、事業の選択と集中を図るためファッション事業のうち、紳士服販売店舗15店舗を譲渡いたしました。

カルチャー事業では2店舗を営業譲渡し、1店舗を業態変更、中古書籍販売店舗3店舗を出店し、子会社の合併と不採算店舗の見直しを行い、収益強化と営業の効率化を推し進めてまいりました。また、昨年の夏に開催されましたアテネオリンピックの影響もあり、DVDレコーダーや液晶テレビなどの家電製品の普及にはずみが付き、それに伴い映像DVDを中心に販売・レンタルともに売上を伸ばしました。
中古書籍部門につきましては、店舗の改装を積極的に行い、買取りを強化して品揃えを充実させたことにより、売上を伸ばしました。

ファッション事業につきましては、店舗譲渡により売上高の減少と閉店セールによる粗利高の減少、天候異常による影響もあり大幅な収益の減少となりました。
期末の店舗数につきましては、63店舗（前期末75店舗：△12）となっております。

これらの結果、当期におきましては、売上高16,153百万円（前期比△3.6%）、経常利益431百万円（前期比△25.4%）、当期純利益308百万円（前期比6.0%増）となりました。

部門別概況

① カルチャー事業
当部門の売上高は、中古書籍・ゲーム販売、DVDのレンタル・販売が好調に推移し、また、子会社の合併による店舗数の増加で13,190百万円（前期比6.7%増）となりました。

② ファッション事業
当部門の売上高は、紳士服販売店舗15店舗を譲渡したことにより2,962百万円（前期比△32.6%）となりました。

今後の方針

当社はお客様のより良い生活実現のため良い品良いサービスをより安く提供し、服飾と生活文化を通じてお客様の満足を実現し地域社会に貢献することを経営理念として企業活動を推進してまいりました。

今後の方針としては、カルチャー事業におきましては「お客様と従業員に満足いただく店舗作り」を目指し、ツタヤ店舗では次世代型店舗への移行を推進し、ブックオフ店舗では大型化、改装、環境整備によりお客様が楽しく快適な買物ができる店舗作りを進めていきます。

出店エリアは、静岡県を中心に神奈川県・東京都・埼玉県・愛知県・京都府と拡大してまいりましたが、メガフランチャイジーとして地域ドミナント化を目指して積極的に出店していきます。

ファッション事業におきましては、既存店を見直し、各店舗の個店別対策を重視し、地域性・客層に合わせた商品構成・営業戦略を立て、またお客様の再来店頻度を向上させるため商品提案力・接客サービス力を強化、充実させて収益力の回復を図ってまいります。

経営課題と致しまして、キャッシュフローを重視し経営の効率化や財務体質の強化を推し進め、業績の伸展に全力を上げて邁進する所存でございます。
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　後藤　行宏

- 資金調達の状況

出店及び業態変更に伴う設備投資資金は、自己資金及び銀行借入によりまかなっております。

- 設備投資の状況

当期は、カルチャー事業におきまして中古書籍店3店舗を出店し、さらに子会社を吸収合併したことにより4店舗を獲得し、ファッション事業におきましては2店舗を出店しました。各事業部への有形固定資産への設備投資額は、カルチャー事業　196百万円、ファッション事業　21百万円となりました。これ以外に、賃借物件を購入したことにより有形固定資産への設備投資額は149百万円となりました。

この結果、当期の設備投資総額は、367百万円となりました。

- 子会社合併の状況

① 経過

株式会社ラブックスにつきましては、平成16年9月1日に当社を存続会社として合併しました。

また、株式会社ジーエムエスは、平成16年8月13日の株式の追加取得により出資比率100%となり、連結子会社から子会社となりました。同社の主要な事業内容は、当社ツタヤ座間店の店舗不動産の賃貸であり資産及び売上高等からみて重要性は乏しいものと判断されます。

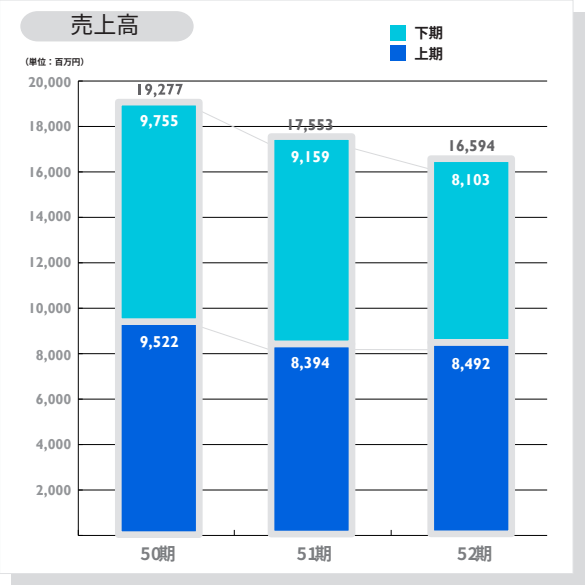
② 成果

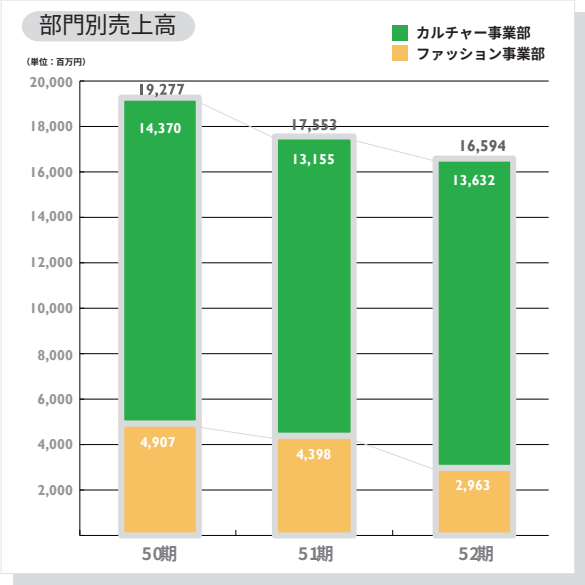
決算日現在存在する連結子法人は、株式会社ジーエムエスの子会社1社であります。当期の連結売上高は16，594百万円、連結当期純利益は342百万円となりました。

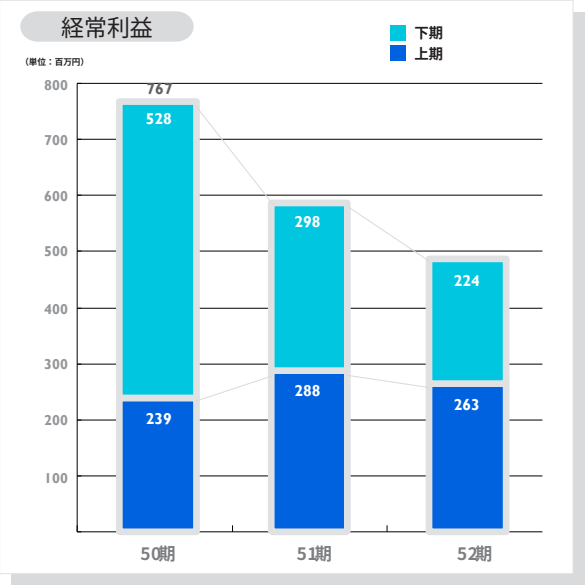
- 主要な営業所及び店舗

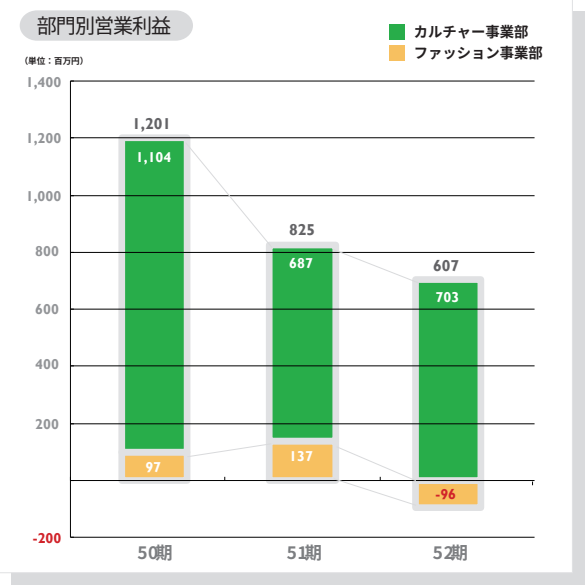
事業所名	所在地		店舗数
本部	静岡県沼津市		
カルチャー店舗	静岡県沼津市他	22店舗	46
	神奈川県座間市他	14店舗	
	東京都府中市他	3店舗	
	愛知県名古屋市他	3店舗	
	京都府京都市他	2店舗	
	埼玉県狭山市他	2店舗	
紳士服店舗	静岡県沼津市他	5店舗	5
カジュアル店舗	静岡県函南町他	7店舗	7
レディース店舗他	静岡県沼津市他	5店舗	5
合計			63

連結　決算ハイライト


売上高
下期
上期
（単位：百万円）
20,000
18,000
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
19,277
9,755
9,522
17,553
9,159
8,394
16,594
8,103
8,492
50期
51期
52期


部門別売上高
カルチャー事業部
ファッション事業部
（単位：百万円）
20,000
18,000
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
19,277
14,370
4,907
17,553
13,155
4,398
16,594
13,632
2,963
50期
51期
52期


経常利益
下期
上期
（単位：百万円）
800
700
600
500
400
300
200
100
767
528
239
298
288
224
263
50期
51期
52期


部門別営業利益
カルチャー事業部
ファッション事業部
（単位：百万円）
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
-200
1,201
1,104
97
825
687
137
607
703
-96
50期
51期
52期

連結　貸借対照表

単位　：千円）

	52期末 (A)	51期末 (B)	(A) - (B)
資産の部			
流動資産			
現金及び預金　※1	3,652,583	2,447,973	1,204,610
受取手形及び売掛金	87,277	119,351	△ 32,074
たな卸資産　※2	1,797,520	2,374,317	△ 576,796
その他流動資産	447,297	745,299	△ 298,002
固定資産			
有形固定資産	6,369,143	6,779,956	△ 410,813
無形固定資産	277,486	310,690	△ 33,203
投資その他の資産	4,465,721	4,845,460	△ 379,738
資産合計	**17,097,031**	**17,623,049**	**△ 526,017**
負債・少数株主持分・資本の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金　※3	857,823	1,543,099	△ 685,276
短期借入金	2,702,779	2,126,406	576,373
その他流動負債	860,608	1,099,709	△ 239,101
固定負債			
社債	800,000	840,000	△ 40,000
長期借入金及びその他の固定負債	1,375,095	1,894,513	△ 519,418
負債合計	6,596,307	7,503,729	△ 907,421
少数株主持分	0	3,109	△ 3,109
資本			
資本金	2,546,671	2,546,671	0
資本剰余金	2,674,144	2,674,144	0
利益剰余金	5,088,251	4,814,676	273,574
その他有価証券評価差額金	191,974	81,035	110,939
自己株式	△ 317	△ 317	0
資本合計	10,500,724	10,116,210	384,514
負債・少数株主持分・資本合計	**17,097,031**	**17,623,049**	**△ 526,017**

※1 現金及び預金

売上以外での増減要因
- 敷金、建設協力金の回収
- 短期借入金の増加
- 営業譲渡による収入　　等

※2 棚卸資産

- カルチャー事業　△４百万円
- ファッション事業　△５７２百万円

【増減要素】
カルチャー事業　ブックオフ３店舗出店　（増）
ブックオフ榛原・TSUTAYA上社　譲渡
ブックオフ焼津・TSUTAYA本山　、その他２店　閉店（減）

ファッション事業　１５店舗譲渡　（減）

※3 支払手形及び買掛金

- カルチャー事業　△５８百万円
- ファッション事業　△６２７百万円

上記の内、ファッション事業の支払手形の金額　△４５７百万円

連結　損益計算書

単位　：千円）

	52期 (A)	51期 (B)	(A) - (B)
売上高 ※1	**16,594,314**	**17,553,411**	**△959,096**
売上原価	9,992,955	9,933,882	59,072
売上総利益 ※2	6,601,359	7,619,528	△ 1,018,169
販売費及び一般管理費 ※2	6,405,105	7,263,241	△ 858,135
営業利益	196,253	356,287	△ 160,033
営業外収益	981,595	832,606	148,988
営業外費用	690,979	603,000	87,979
経常利益	486,869	585,893	△ 99,024
%	**2.9%**	**3.3%**	**△ 0.4%**
特別利益 ※3	348,888	97,284	251,603
特別損失	128,640	68,422	60,218
税金等調整前当期純利益	707,116	614,755	92,361
法人税、住民税及び事業税	313,158	337,169	△ 24,010
法人税等調整額	34,352	5,055	29,296
少数株主損益（控除）	△ 16,975	8,338	△ 25,313
当期純利益	342,630	280,868	61,762

※1 売上高

・カルチャー事業　　４７７百万円
・ファッション事業　　△１，４３６百万円

△９５９百万円

カルチャー事業は店舗数増、売上好調推移となるが、ファッション事業は店舗譲渡による店舗数大幅減により売上も縮小している

※2 売上総利益 販売管理費

売上高減及びメンズ閉店セールにより売上総利益は減少。
ただし、販売費及び一般管理費も減少し、売上高に対する比率は２．８%低下。

※3 特別利益

ファッション事業における、店舗譲渡益として２８７百万円

連結　キャッシュフロー計算書

単位　：千円）

	52期 (A)	51期 (B)	(A) - (B)
営業活動によるキャッシュフロー	368,081	1,399,319	△ 1,031,238
投資活動によるキャッシュフロー	1,017,461	△ 49,564	1,067,025
財務活動によるキャッシュフロー	△ 170,957	△ 885,136	714,179
現金及び現金同等物の増減額	1,214,586	464,617	749,969
現金及び現金同等物の期首残高	1,870,695	1,406,077	464,618
現金及び現金同等物の期末残高	3,085,281	1,870,695	1,214,586

営業活動によるキャッシュフロー

- 税金等調整前当期純利益　７０７百万円
- 減価償却費　４７０百万円

- 棚卸資産の減少　５９９百万円
- 仕入債務の減少　△６８５百万円
- 法人税等の支払　△４１８百万円

投資活動によるキャッシュフロー

- 店舗営業譲渡による収入　６７５百万円
- 敷金・建設協力金等の回収　７１８百万円

- 有形固定資産の取得による支出　△３４５百万円

財務活動によるキャッシュフロー

① 長期借入金の返済　△１，３１４百万円
② 短期借入金の純増減額　７９２百万円
③ 長期借入れによる収入　４６０百万円

株式の状況

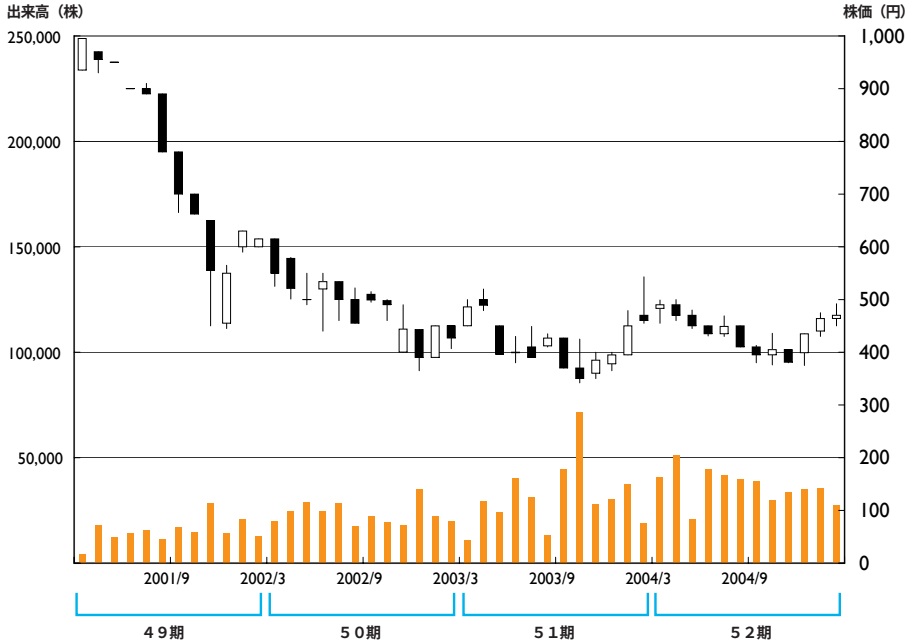
大株主

（２００５年2月２８日現在）

株主名	議決権数	議決権比率）
有限会社ゴトーエンタープライズ	3,481,920	(37.8%)
後藤　行宏	1,058,558	(11.4%)
後藤　菊枝	672,832	(7.3%)
有限会社ジーティー企画	520,000	(5.6%)
ゴトー共栄会	460,800	(5.0%)
後藤　全弘	456,950	(4.9%)
株式会社ＵＦＪ銀行	321,000	(3.4%)
スルガ銀行株式会社	308,000	(3.3%)
日本ジャンボー株式会社	188,900	(2.0%)
株式会社静岡銀行	173,000	(1.8%)

- 会社が発行する株式の総数　２４，６３４，０００株
- 発行済株式の総数　９，２０７，７５３株
- 株主数　５５０名
  （前期比１１２名増）

株式・出来高の推移



役員

（２００５年5月３０日現在）

代表取締役社長　後　藤　行　宏

代表取締役専務　後　藤　久　徳　（事業本部長　）

常務取締役　土`橋　文　彦　（管理本部長兼総合企画部長）

【執行役員】

市川　文宏（管理本部　人事部長　）
後藤　知弘（事業本部　ファッション事業部長　）
高橋　英明（事業本部　カルチャー事業部　営業部長）
小池　修一（事業本部　カルチャー事業部　管理部長）
小原　政寛（管理本部　経理部長　）

株式事務についてのご案内

決　算　期	2月末日
基　準　日	定時株主総会については2月末日 その他の必要があるときは、あらかじめ公告いたします。 利益配当金　毎年2月末日 中間配当金　毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
事務取扱所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 電話　(03)5683-5111（代表） フリーダイヤル　0120-232-711
取　次　所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式数	100株

お知らせ

株式に関する諸手続きについて

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求等の株式に関する諸手続きにつきましては、左記の名義書換代理人あてにご照会ください。

また、配当金につきましては、銀行口座への振込のご指定ができますので、ご希望の方は、左記名義書換代理人あてに配当金振込指定書をご請求の上、お申込みいただきますようお願い申しあげます。

なお、住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求につきましては、名義書換代理人の左記フリーダイヤルで受け付けております。

株式会社ゴトー

〒410-0063 静岡県沼津市緑が丘10番地の1
TEL　(055)923-5100
ゴトーホームページ　http://www.gms.co.jp/goto/